

## 七宗町 全域

令和4年度事例

## 【地域の概要】

- 七宗町は、岐阜県の中南部に位置し、東西・南北はそれぞれ約12kmをもち、面積は90.47km<sup>2</sup>あり町域の90.3%は、山林が占め、平地は極めて少ない中山間地域です。
- 地域全体での高齢化、地域外在住者が農地を相続等により、耕作放棄地が増加している。

## 取組開始前の状況や課題

## 課題

- 農地を相続した非農家・町外居住者の増加により耕作放棄地が今後増加する可能性が高い。
- 農業従事者の高齢化及び担い手(後継者)不足により、農地の遊休化。
- 令和4年度当初 遊休農地面積3.3ha  
解消面積目標0.54ha

## 取組内容

## 農地の見回り活動

○日頃から農業委員・農地利用最適化推進委員は、町内の担当地域の農地を見回り、遊休農地発生防止に努めた。

○令和4年9月に農業委員・最適化推進委員・事務局の農地パトロールにより、現状の遊休農地5.3haを把握した。

○B分類(再生利用困難)に区分された荒廃農地について現況に応じて非農地判断を行うなど遊休農地0.27haを解消した

## 担い手組織との話し合い

○中山間地域直接支払交付金及び多面的機能支払交付金事業の組織代表者等と話し合い、対象農地の耕作・維持管理状況を確認。

## アンケートの送付(令和5年3月～)

○令和5年度までの地域計画の目標地図の素案策定に向け、農地所有者745件にアンケートを送付。

## 今後の展開と方向性

## 農地パトロールでの状況把握

○各農業委員が農地パトロールを実施し耕作放棄地等の状況把握。

○B分類(再生利用困難)に区分された荒廃農地については現況に応じて非農地判断を行い、守るべき農地を明確化していく。

## 交付金の活用

○中山間地域直接支払交付金及び多面的機能支払交付金を活用し、現状維持や少しでも遊休農地を減らすよう取組んでいく。

## 地域計画策定に合わせた解消

○地域計画策定のなかで、人農地プランの実質化地域以外の農地についても状況を把握し、町全体で遊休農地解消に取り組む。

## 普及・啓発

○広報やホームページを活用し遊休農地発生防止の啓発を行う。